



2024年5月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年9月29日

上場会社名 日本プロセス株式会社 上場取引所 東
コード番号 9651 URL <https://www.jpdc.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 多田 俊郎
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 財務統括 (氏名) 坂巻 詳浩 TEL 03-4531-2111
四半期報告書提出予定日 2023年10月10日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無：無
四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年5月期第1四半期の連結業績（2023年6月1日～2023年8月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する 四半期純利益 | |
|---------------|-------|------|------|------|------|------|----------------------|------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2024年5月期第1四半期 | 2,250 | 8.3 | 216 | △0.3 | 230 | △1.9 | 164 | △3.3 |
| 2023年5月期第1四半期 | 2,077 | 18.0 | 217 | 30.8 | 234 | 30.7 | 170 | 88.9 |

(注) 包括利益 2024年5月期第1四半期 187百万円 (0.2%) 2023年5月期第1四半期 186百万円 (225.6%)

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|---------------|-----------------|----------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2024年5月期第1四半期 | 17.05 | — |
| 2023年5月期第1四半期 | 17.65 | — |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|---------------|--------|--------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 2024年5月期第1四半期 | 11,178 | 10,091 | 90.3 |
| 2023年5月期 | 12,311 | 10,077 | 81.9 |

(参考) 自己資本 2024年5月期第1四半期 10,091百万円 2023年5月期 10,077百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|--------------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 2023年5月期 | — | 17.00 | — | 18.00 | 35.00 |
| 2024年5月期 | — | — | — | — | — |
| 2024年5月期（予想） | — | 18.00 | — | 18.00 | 36.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2024年5月期の連結業績予想（2023年6月1日～2024年5月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属 する当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|-----------|-------|-----|------|-----|------|-----|---------------------|------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 第2四半期（累計） | 4,490 | 4.4 | 450 | 0.6 | 480 | 2.6 | 340 | 10.0 | 35.19 |
| 通期 | 9,090 | 1.9 | 915 | 0.8 | 970 | 0.3 | 690 | 1.1 | 71.37 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料7ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

| | | | | |
|---------------------|------------|-------------|------------|-------------|
| ① 期末発行済株式数（自己株式を含む） | 2024年5月期1Q | 10,645,020株 | 2023年5月期 | 10,645,020株 |
| ② 期末自己株式数 | 2024年5月期1Q | 985,639株 | 2023年5月期 | 985,439株 |
| ③ 期中平均株式数（四半期累計） | 2024年5月期1Q | 9,659,405株 | 2023年5月期1Q | 9,643,918株 |

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(注) 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 3 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 5 |
| 四半期連結損益計算書 | |
| 第1四半期連結累計期間 | 5 |
| 四半期連結包括利益計算書 | |
| 第1四半期連結累計期間 | 6 |
| (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 7 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 7 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 7 |
| (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) | 7 |
| (セグメント情報等) | 7 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス禍からの社会経済活動の正常化が進み、雇用・所得環境が改善するなど緩やかな景気回復の動きが継続しました。しかしながら、資源・原材料価格の高騰や世界的な金融引締めなどによる海外景気の下振れが、わが国の景気を下押しするリスクとなっております。

情報サービス産業におきましては、業務効率化・生産性向上を目的としたデジタルトランスフォーメーション(DX)など、情報通信技術(ICT)活用の意欲は依然として高いものの、IT投資の動向については慎重に見極めていく必要が生じております。

こうした環境の中、当社は、「ソフトウェアで社会インフラ分野の安全・安心、快適・便利に貢献する」を中期経営ビジョンとする中期経営計画(2021年6月~2024年5月)を策定し、人材育成のための大規模案件請負の推進、トータル・ソフトウェア・エンジニアリング・サービスのトータル度向上を基本方針としております。

人材育成のための大規模案件請負の推進としては、大規模案件を計画的に請負受注し、開発を通じて新規設計能力やマネジメント力の向上などの人材育成を継続して進めており、大規模案件に参画した社員及び組織の成長が見られます。

トータル・ソフトウェア・エンジニアリング・サービスのトータル度向上としては、これまでも顧客のご協力を得ながら長期的に継続している「ソフトウェアの要件定義、開発から運用・保守までをトータルにサービスすることで、顧客に最大のメリットを提供する」という取組みを、各セグメントの事業環境に応じて戦略的に目標を定めて実施し、さらなるトータル度向上により顧客への付加価値を向上させ、持続的な採算性の改善、競争力強化を図っております。

また持続的成長への施策として、賃上げを実施して社員への還元と採用競争力の維持・強化を図り、優秀な人材の安定確保に取組むとともに、戦略に沿った技術教育や継続的なマネジメント教育を通じて社員の技術力の強化に努めております。

この結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は2,250百万円(前年同期比8.3%増)、営業利益は216百万円(前年同期比0.3%減)、経常利益は230百万円(前年同期比1.9%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は164百万円(前年同期比3.3%減)となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。なお、当第1四半期連結会計期間より「産業・ICTソリューション」に含まれていた航空宇宙関連を「特定情報システム」へ移管しております。以下の前年同四半期比較については、前年同四半期の数値を変更後のセグメント区分に組替えた数値で比較分析しております。

(制御システム)

制御システムでは、再生可能エネルギーを含めた電力系統制御システムは体制拡大により好調に推移しましたが、プラント監視制御システムは開発量が減少しました。東京圏輸送管理システムは前期より開始した更新案件により売上が好調に推移しました。新幹線の運行管理システムは横ばいで推移し、在来線の運行管理システムは開発量が減少しました。

この結果、売上高は338百万円(前年同期比3.8%増)、セグメント利益は73百万円(前年同期比7.9%減)となりました。

(自動車システム)

自動車システムでは、自動運転/先進運転支援関連は新たな案件を受注するなど好調に推移しました。車載情報関連は売上が横ばいで推移し、電動化関連は海外向けの開発規模縮小に伴い減少しました。

この結果、売上高は552百万円(前年同期比11.1%増)、セグメント利益は142百万円(前年同期比0.0%増)となりました。

(特定情報システム)

特定情報システムでは、衛星画像関連は受注量の増加により好調に推移しました。航空宇宙関連はリプレース案件により売上が堅調に推移しました。危機管理関連は大規模案件が収束したことで体制を縮小しました。

この結果、売上高は297百万円(前年同期比7.9%増)、セグメント利益は44百万円(前年同期比20.8%減)となりました。

(組込システム)

組込システムでは、ストレージデバイス開発は体制を縮小したものの、新ストレージ開発は新たな開発案件を受注するなど好調に推移しました。IoT建設機械関連は開発量が増加し体制を拡大したことで堅調に推移しました。

この結果、売上高は347百万円(前年同期比6.8%増)、セグメント利益は88百万円(前年同期比19.5%増)となりました。

(産業・ICTソリューション)

産業・ICTソリューションでは、社会インフラ関連の駅務機器開発は新たな案件を受注するなど好調に推移し、道路設備関連は体制を拡大し堅調に推移しました。官公庁向け開発は前期より開始した開発案件が好調に推移しました。システム構築関連はおおむね横ばいで推移しました。

この結果、売上高は713百万円（前年同期比9.4%増）、セグメント利益は116百万円（前年同期比9.1%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(総資産)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて1,132百万円減少して、11,178百万円となりました。この主な要因は、賞与支給及び法人税等の支払いに伴い現金及び預金が減少したことによります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べて1,146百万円減少して、1,087百万円となりました。この主な要因は、賞与支給及び法人税等の支払いが行われた結果、賞与引当金及び未払法人税等が減少したことによります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べて13百万円増加して、10,091百万円となりました。この主な要因は、配当金支払いにより利益剰余金が減少したものの、親会社株主に帰属する四半期純利益により利益剰余金が増加したこと及びその他有価証券評価差額金が増加したことによります。この結果、自己資本比率は、90.3%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想につきましては、2023年7月7日公表の2024年5月期の連結業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2023年5月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (2023年8月31日) |
|----------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 4,157,233 | 3,206,394 |
| 受取手形、売掛金及び契約資産 | 2,589,144 | 2,519,810 |
| 電子記録債権 | 1,306,703 | 1,273,624 |
| 有価証券 | 750,333 | 600,601 |
| 仕掛品 | 97,023 | 114,613 |
| その他 | 100,737 | 137,277 |
| 流動資産合計 | 9,001,176 | 7,852,322 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | 161,528 | 162,219 |
| 無形固定資産 | 40,516 | 37,674 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 2,536,510 | 2,509,580 |
| その他 | 571,923 | 617,134 |
| 投資その他の資産合計 | 3,108,433 | 3,126,714 |
| 固定資産合計 | 3,310,479 | 3,326,609 |
| 資産合計 | 12,311,655 | 11,178,931 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 158,104 | 139,137 |
| 未払法人税等 | 166,833 | 80,928 |
| 賞与引当金 | 1,334,760 | 402,104 |
| その他の引当金 | 39,392 | 11,806 |
| その他 | 477,258 | 406,805 |
| 流動負債合計 | 2,176,348 | 1,040,780 |
| 固定負債 | | |
| 長期末払金 | 57,477 | 46,894 |
| その他 | 166 | 166 |
| 固定負債合計 | 57,643 | 47,060 |
| 負債合計 | 2,233,992 | 1,087,841 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 1,487,409 | 1,487,409 |
| 資本剰余金 | 2,270,166 | 2,270,166 |
| 利益剰余金 | 6,420,435 | 6,411,223 |
| 自己株式 | △618,599 | △618,599 |
| 株主資本合計 | 9,559,412 | 9,550,200 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 476,008 | 492,581 |
| 為替換算調整勘定 | 42,241 | 48,307 |
| その他の包括利益累計額合計 | 518,250 | 540,889 |
| 純資産合計 | 10,077,663 | 10,091,090 |
| 負債純資産合計 | 12,311,655 | 11,178,931 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自 2022年6月1日 至 2022年8月31日) | 当第1四半期連結累計期間 (自 2023年6月1日 至 2023年8月31日) |
|------------------|---|---|
| 売上高 | 2,077,515 | 2,250,243 |
| 売上原価 | 1,617,675 | 1,784,972 |
| 売上総利益 | 459,839 | 465,270 |
| 販売費及び一般管理費 | 242,335 | 248,316 |
| 営業利益 | 217,504 | 216,954 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 2,948 | 2,716 |
| 受取配当金 | 10,226 | 11,963 |
| 受取保険金 | 10,000 | — |
| 保険解約返戻金 | 1,117 | 375 |
| その他 | 1,282 | 1,761 |
| 営業外収益合計 | 25,574 | 16,817 |
| 営業外費用 | | |
| 障害者雇用納付金 | 600 | 150 |
| 為替差損 | 3,332 | 2,561 |
| 租税公課 | 3,736 | — |
| その他 | 870 | 934 |
| 営業外費用合計 | 8,539 | 3,646 |
| 経常利益 | 234,539 | 230,126 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | — | 1,052 |
| 特別利益合計 | — | 1,052 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除却損 | 0 | 1,137 |
| 特別損失合計 | 0 | 1,137 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 234,539 | 230,041 |
| 法人税等 | 64,346 | 65,380 |
| 四半期純利益 | 170,192 | 164,660 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 170,192 | 164,660 |

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自 2022年6月1日 至 2022年8月31日) | 当第1四半期連結累計期間 (自 2023年6月1日 至 2023年8月31日) |
|-----------------|---|---|
| 四半期純利益 | 170,192 | 164,660 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 3,073 | 16,572 |
| 為替換算調整勘定 | 13,677 | 6,066 |
| その他の包括利益合計 | 16,750 | 22,638 |
| 四半期包括利益 | 186,943 | 187,299 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 186,943 | 187,299 |

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用につきましては、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I. 前第1四半期連結累計期間(自 2022年6月1日 至 2022年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | | | 合計 |
|-------------------|---------|---------|----------|---------|---------------|-----------|
| | 制御システム | 自動車システム | 特定情報システム | 組込システム | 産業・ICTソリューション | |
| 売上高 | | | | | | |
| 顧客との契約から生じる収益 | 326,099 | 497,235 | 275,992 | 325,822 | 652,365 | 2,077,515 |
| 外部顧客への売上高 | 326,099 | 497,235 | 275,992 | 325,822 | 652,365 | 2,077,515 |
| セグメント間の内部売上高又は振替高 | — | — | — | — | — | — |
| 計 | 326,099 | 497,235 | 275,992 | 325,822 | 652,365 | 2,077,515 |
| セグメント利益 | 79,506 | 142,355 | 56,311 | 73,818 | 106,584 | 458,575 |

| | 調整額 (注) 1 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2 |
|-------------------|--------------|--------------------------------|
| 売上高 | | |
| 顧客との契約から生じる収益 | — | 2,077,515 |
| 外部顧客への売上高 | — | 2,077,515 |
| セグメント間の内部売上高又は振替高 | — | — |
| 計 | — | 2,077,515 |
| セグメント利益 | △241,070 | 217,504 |

(注) 1. セグメント利益の調整額△241,070千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△242,335千円及びその他1,264千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II. 当第1四半期連結累計期間（自 2023年6月1日 至 2023年8月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

| | 報告セグメント | | | | | 合計 |
|-------------------|---------|---------|----------|---------|---------------|-----------|
| | 制御システム | 自動車システム | 特定情報システム | 組込システム | 産業・ICTソリューション | |
| 売上高 | | | | | | |
| 顧客との契約から生じる収益 | 338,421 | 552,248 | 297,757 | 347,870 | 713,946 | 2,250,243 |
| 外部顧客への売上高 | 338,421 | 552,248 | 297,757 | 347,870 | 713,946 | 2,250,243 |
| セグメント間の内部売上高又は振替高 | — | — | — | — | — | — |
| 計 | 338,421 | 552,248 | 297,757 | 347,870 | 713,946 | 2,250,243 |
| セグメント利益 | 73,237 | 142,370 | 44,613 | 88,226 | 116,289 | 464,737 |

| | 調整額 (注) 1 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2 |
|-------------------|--------------|--------------------------------|
| 売上高 | | |
| 顧客との契約から生じる収益 | — | 2,250,243 |
| 外部顧客への売上高 | — | 2,250,243 |
| セグメント間の内部売上高又は振替高 | — | — |
| 計 | — | 2,250,243 |
| セグメント利益 | △247,783 | 216,954 |

(注) 1. セグメント利益の調整額△247,783千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△248,316千円及びその他533千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第1四半期連結会計期間より「産業・ICTソリューション」に含まれていた航空宇宙関連を、「特定情報システム」へ移管しております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分により作成したものを記載しております。